

たましま協同病院だより

玉島協同病院

倉敷市玉島柏島5209-1

電話(086) 523-1234

http://www.tamakyo.com/

発行責任者 青木弘人

〔病院理念〕玉島とその周辺の地域で暮らす人々が、疾病・障害のあるなしにかかわらず、その人らしく輝いて暮らせ、安心して一生を終えることを支援する医療機関でありたいと願います



健康チェックの様子

こんにちは、水島協同病院初期研修医2年目の安陵彰太です。これまでの水島協同病院の研修では、慢性期の患者さんに関わらせて頂くことが多く、訪問看護や訪問診療に同行し、実際に自宅や利用している施設に足を運んだりしました。それらの体験を通じて、書類に書いてある情報だけでは

地域医療研修で学ぶ 在宅医療の大切さ



わからなかったことや、症状や介護状況、生活習慣といった新たな問題が浮き彫りになり、イメージもつきやすくなることを肌で感じる事ができました。また、訪問時に同伴していた看護師の仕事の様子も直接見る事ができ、様々な職種力があつてこそ、医療が成り立っているのだと改めて感じました。

このような機会を設けて頂き、本当にありがとうございました。

(初期研修医 安陵 彰太)



左から、丸野看護師、清水医師、永田看護師

第48回 全国腎疾患管理懇話会 学術大会に参加

シリーズ透析室⑪

11月7日～8日、第48回全国腎疾患管理懇話会学術大会(以後、全腎懇)に参加しました。全腎懇は毎年、全国各地で開催されてお

り、各々が日々の取り組みを発表しあいます。今回は鹿児島県での開催でした。

私たちはそれぞれ「透析療養支援・指導のための在宅訪問」「地域の事業所と連携した腹膜透析患者さんの支援」「保存期の意思決定支援について」というテーマで発表を行い、当院での取り組みを紹介し、うち2演題は座長賞をいただきました。発表の準備は大変でしたが、全国から参加された院所の取り組みを聞き、とても刺激を受けました。今後の医療活動に活かしていきたいと思っています。

(透析室看護師 丸野 由紀)



生徒さんと話し、質問に答える竹田医師(右)

11月12日から14日までの3日間、2名の中学生の生徒さんが当院でチャレンジワークを行ない、医療や介護に関わる体験をしました。

中学生職業体験 チャレンジワーク

チャレンジワークとは、

倉敷市内の中学2年生が市内の様々な事業所で職業体

験を行なうもので、今回、当院では2名の生徒さんを受け入れました。

療養病棟や通所リハビリテーションでは患者さんと一緒にレクリエーションに参加したり、医師を始め、看護師、薬剤師、理学療法士や調理師など様々な職業を体験してもらいました。

参加した生徒さんからは、「1人の患者さんには、皆さんの職種の人が関わっ



通所リハビリでのベッドメイキング

ていることを知った」「働くことの大変さがとてもよく分かった」などの感想が寄せられました。

今回の職業体験が、将来の進路を考える上で役に立ってくれると嬉しいです。

(地域医療・ケアサポートセンター 柳瀬 佳奈)



鹿児島名物しろくまかき氷

～ おまけの感想 ～
人は優しく、食べ物おいしく、穏やかに時が流れる鹿児島が大好きになりました。二日とも天気が良く、会場からは桜島がとてもきれいに見えました。11月でしたが暖かく、念願だったしろくまのかき氷も食べることが出来、充実した鹿児島出張でした。

連携訪問に来られました！

12月3日(水) 川崎医科大学附属病院の皆様が来院されました。日常的な連携は、患者さんを安心して紹介させていただくために、必要不可欠です。今回は医師、看護師、ソーシャルワーカーの皆様と診療に関する情報交換をさせていただきました。今後も地域の医療機関との連携を深めつつ、皆様に安心してかかっている病院を目指し、取り組んでいきたいと思っています。



(地域連携室 守分 香)

玉島協同病院は今後も部屋代はいただきません／カルテを開示しています

クリスマス飾りをいただきました！

玉島西中学校美術部の皆さんから、クリスマスの飾りをいただきました。工夫した点など作品にまつわる話を聞き、岡田看護部長よりありがたく頂戴しました。患者さんや利用者さんからよく見えるように、1階受付と4階の病棟に飾らせていただきました。ありがとうございました。

(地域医療・ケアサポートセンター 柳瀬 佳奈)



西中学校美術部の皆さんと一緒に♪



寄贈されたクリスマスリース



Follow Us!

玉島協同病院
公式Instagram

@tamashima_kyoudou



健康相談を担当する筆者(左)

途中、「認知症を遠ざける生活のコツ」をテーマにした昆研修医による講話があり、解りやすい資料と説明に皆さん頷かれています。

「誰もが安心して暮らせるまち玉島」で閉会しました。(地域医療・ケアサポートセンター 竹竝 文代)

10月28日(火) 南浦地区ミニ健康展に参加させて頂きました。秋晴れの中、大勢の方が南浦小学校体育館へ来られました。会場には血管年齢や肺

活量の測定など健康チェックに関する12のブースがあり、中庭にはレントゲン検診車も来ていました。当院の昆研修医による健康相談では相談が途切れることなく、大好評でした。また玉島南高齢者支援センターによる健康体操もあり、会場は盛り上がりしました。

今回の参加で、南浦地域では人口減少や高齢化で小学校は休校に、幼稚園は閉鎖をされていることを知りました。また、買い物や近隣の医療機関への通院など困難を感じている現状も伺いました。どの方々からも「まだまだ自分で動けんといけん。」との声が上がっており、近所との助け合いを始め、生活支援や福祉サービスなど社会資源をしっかりと活用し、

南浦地区ミニ健康展に参加



全国青年ジャンボリーin神戸に参加！



全国から集結した実行委員のメンバーたち

11/27-29の3日間、神戸で全国青年ジャンボリーが開催されました。

私は実行委員として1年半、全国青年ジャンボリー(以下JB)の準備をすすめてきました。JBは北海道から沖縄まで全国の青年職員が集結し、交流する場です。今年は6年ぶりの完全対面開催で、開催地が神戸ということもあり、約500人もの参加者が集まり、阪神淡路大震災について学んだり、中華街や神戸タワーを散策するフィールドワークを企画しました。このJBを通して、多くの友人と出会い、全国の民医連職員との繋がりを感じる事ができました。

(事務課 日笠 未久)



JB仲間と記念撮影(筆者右)



JB仲間と楽しんだ神戸散策



加集万里子のお料理教室

シリーズ205



れんこんのナムル



薄切りのれんこんを塩で味付けして、レンジで加熱するだけで完成。作り置きしておくと便利です。

材料 (れんこん1節15cm位)

- ♥れんこん..... 1節(約250g)
- ♥塩..... 小さじ半分
- ♥ゴマ油..... 小さじ1
- ♥ごま..... 少々

作り方

- ①れんこんを2〜3ミリの厚さに切り、すぐに水に入れる。
- ②水気を切ったら耐熱皿に入れ、塩をふる。ラップをふんわりかけ、600wで5分加熱する。(好みの固さになるまで加熱)
- ③ラップを外したら、ごま油とごまをふる。



ごまを青のりに変えても美味しいです。れんこんを薄くキレイに切るには、熱湯で1分ゆでて冷水にとると、割れずにキレイに切れます。